

# 札幌市立清田緑小学校の実践

## (1) はじめに

平成 21 年度まで、第 4 学年において札幌市アイヌ教育相談員の派遣を通して学習をしてきました。平成 22 年度は、それまでの理解を深めたものを基に（指導・制作方法等）蓄積してきた資料を中心とした学習を進めてきました。しかし、観察・調査活動及び体験的な活動の充実を図るためには、実際に札幌市アイヌ文化交流センター「サッポロピリカコタン」での活動が必要であり、今年度は、本校の教育活動に位置づけて進めました。

## (2) 事前学習

アイヌの生活や文化について、副読本「わたしたちの札幌」とワーク、アイヌ文化交流センターからのノート（資料付）を使用して学習しました。アイヌ文様作りも少しだけ事前に体験しました。



## (3) ピリカコタンでの活動内容

### ① 講話・歌舞・楽器の公演

アイヌの生活やコタンなどについて、時々、クイズを交えながら、分かりやすくお話を聞かせていただきました。

歌舞やムックリ、トンコリの演奏があり、子どもたちの印象に残りました。



### ② アイヌ文様作り（体験）

テーブルごとに教えてくれるスタッフがついてくれて、楽しく切り絵をしました。



### ③ 展示室

「さわってよい世界に一つしかない展示物」というのが、うれしかったようです。

木の皮で服を作る、サケの皮で

服を作るについて詳しく教えてもらい興味深く聞いていました。



### (4) 事後の学習

ピリカコタンは、午前中のみので活動だったので、アイヌ文様作りは時間が足りないようで、学校に帰ってから他の文様も作ってみました。また、感想を書かせて学習をふり返りました。

#### 「ピリカコタンを見学して」

今日は、バスでピリカコタンへ行きました。まずは交流ホールでムックリやトンコリを聞きました。ムックリは不思議な音で、トンコリはきれいな音でした。

その後、展示室へ行って、見たこともない物をたくさん見ました。木から糸を取るのに1年もかかるとは思いませんでした。あとびっくりしたのは、まな板とさらがいっしょになっている物です。すごく便利だなと思い、また1回自分でもやってみたいです。

最後に交流ホールに行って、アイヌ文様を作りました。一回失敗するかなあと思ったけど、失敗しなくてよかったです。2こ目はずれないようにするのが大変だったけど、できたので良かったです。外のチセは、思っていたより大きかったです。

(R. Aくん)

#### 「ピリカコタンを見学して」

私は、ピリカコタンへ行きました。私は、一番最初、交流ホールにいて、おねえさんたちが演奏してくれたムックリの音にびっくりしました。かえるの鳴き声のような音がしてとてもおもしろかったです。おにいさんが演奏してくれたトンコリも昔のギターのような物でした。

その後ももう少し奥に行くと、アイヌの人が使っていた物がたくさんあってびっくりしました。しかの毛を使った冬用の靴は、スリッパみたいにかかるとがでいて、雪の中に入ったら、もう足が紫になりそうなほどスリッパみたいだったです。しかの毛でできているから、つま先の方は暖かそうだったけど、昔の人は大変だなと思いました。

他にも木の皮でできたかごのようななべは、火に近づけたら、もう燃えてしまいそうでした。でも、説明してくれた人が「火からはなして使います」と言っていたのでホッとしました。また、アイヌのことを調べに行ってみたいです。

(S. Tさん)

### (5) 成果と課題

#### ① 成果

実物の資料を触り、それについて詳しい話を聞くことができたので、子どもたちは非常に興味をもち、意欲的に活動していました。その後も文様作りやアイヌ語調べを自主的にする姿が見られました。

ピリカコタンに実際に行くことによって、子どもたちの学習に広がりや深まりが見られ、自らの課題意識を高めたり、しっかりと持ち続けたりすることができました。

#### ② 課題

開拓記念館見学における北海道の歴史とアイヌの歴史、ピリカコタンにおける文化・伝承を切り離して考えることなく、内容的に繋がる部分を大切にしながら、同日の見学を通して学びを深めていきたい。